

平成27年度 政務活動費 先進都市調査報告書

| | |
|-----------------------|--|
| 会派名 | 公明党室蘭市議会 |
| 議員名 | 細川 昭広、砂田 尚子、柏木 隆寿 |
| 調査実施年月日 | 平成27年11月18日(水) |
| 調査先 自治体名等 | 秋田県横手市 |
| 調査項目 | 「健康の駅推進事業」について |
| 調査目的 | 本市では乳幼児から高齢者まで、すべての市民が日頃から健康づくりに取り組むための指針として「健康増進計画第2次はっぴい室蘭21」が策定されているが拠点化された施設は保健センター、市体育館、入江プール、サンライフのみであり、あとは町会会館などが中心で市民全体で活用されているとは言い難い。そこで健康をテーマにした交流拠点をメインコンセプトに、子どもからお年寄りまですべての市民を対象にした横手市の「健康の駅推進事業」を調査研究し本市の施策に活かす。 |
| 報告内容 実施したこと | <p>1 視察先(市町村)の概要 人口:96,535人 (H26.10.1現在) 行政面積:693.04km²</p> <p>2 視察内容</p> <p>横手市健康福祉部健康推進課 田代久和 副主幹に説明を受けました。横手市では「働き盛り世代の生活習慣病予防」「介護予防」「子育て支援」「幼児・学童の健全育成」といったすべてのライフステージにおいて「健康」をテーマとした活動に取り組み、支援も行っている。市内にその拠点となる施設を規模の大きさにより「大規模駅」「中規模駅」「小規模駅」として配置し、トレーニング機器を設置し専門スタッフを常駐させた大規模駅では個々の身体能力に応じた指導で健康づくりを行っている。公民館や各種団体、学校などの中規模駅には専門スタッフを派遣し生涯学習活動や地域活動と連動した地域ぐるみの健康づくりを実施。町内会館や福祉施設を小規模駅とし地域の顔なじみが集い身近な健康づくりを実施。H27年6月末現在、大規模駅3ヶ所、中規模駅22ヶ所、小規模駅65ヶ所の計90ヶ所が設置済み。大規模駅には健康運動指導士10名、運動指導員4名、保健師2名が常駐し、そのほかに有資格サポーター7名、託児サポーター9名も登録され、運動をきっかけに健康全般にわたる保健指導が行われている。</p> |
| 感想(まとめ) 本市へ活かせること等 | <p>大規模駅3ヶ所のトレーニングセンターでは週間予定表が発行され女子高校生以上対象のレディースタイムや同じく高校生以上対象の健康増進タイム、65歳以上対象のシニアパワーアップ教室なども含め、2H以内200円で利用できる生活習慣改善教室プログラム(16回)では毎回の健康チェックと運動のほか体力測定や個別栄養相談、健康講話などで効果の実感ができ安価で継続的な健康づくりが実践できる。また中小規模駅の参加者アンケートによれば健康づくりとともに65%の方が人との交流機会が増えたと回答しており、高齢化のなかで心の健康づくりの場としても効果が認められている。市中心部にある大規模駅・東部トレーニングセンター周辺には民間事業者によるトレーニング施設や通所介護サービス事業者もあり影響を聞いたが住み分けができており民間事業者からの苦情はないとのこと。横手市も高齢化率が33.83%と本市同様の状況であるが健康づくりをコンセプトにしたまちづくりは見習うべき施策と思う。本市は運動指導員についても体育協会が窓口で派遣しているが更なる有資格指導員養成や有資格サポーター、保育サポーターなども検討し全世代の市民が安心して気軽に身近で健康づくりに取り組める拠点づくりが必要と感じた。</p> |